

安全データシート(SDS)

【混合物用（塗料用）】

1 化学品及び会社情報

製品名	ベーステクトNEO 各色共通
会社名	埼玉ペイント株式会社
住所	〒355-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-80
担当部門	品質管理室
担当者	鈴木啓二
電話番号	0493-56-4065
FAX番号	0493-56-4067
e-mail アドレス	factory@saitamapaint.jp
緊急連絡先	0493-56-4065
製品の種類	アクリルエマルジョン塗料
主な用途	基礎化粧材

2 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性	経口 経皮 気体 蒸気 粉じん又はミスト	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		分類できない
呼吸器感作性	固体/液体 気体	分類できない 分類できない
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		区分2
発がん性		区分1 A
生殖毒性		分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響		分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1
誤えん有害性		分類できない
水生環境有害性 短期(急性)		分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)		区分に該当しない
オゾン層への有害性		分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 危険有害性情報		区分1
区分2		
臓器 ([中枢神経系], [腎臓], [血液系]) の障害のおそれ		
区分3		
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 危険有害性情報		
区分1		
長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器(腎臓, 免疫系)の障害		
区分2		

GHSラベル要素
絵表示
健康有害性



注意喚起語
危険有害性情報

危険
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないで下さい
臓器の障害 | 臓器の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 | 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手や塗料の付着した作業着をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

《応急措置》

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
特別な処置が必要である。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けて下さい。

《保管(貯蔵)》

施錠して保管すること。
容器を密閉し、換気の良いところで保管して下さい。
凍結(3℃以下)や高温(40℃以上)は避け、屋内で保管して下さい。

《廃棄》

内容物や容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄して下さい。
残液や洗浄水は絶対に河川に流さないで下さい。
残滓は産業廃棄物として適切に処理して下さい。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

組成及び成分情報

成分名	含有率(%)	CAS番号	安衛法通知物質	化管法
水	30.0 ~ 40.0 %	7732-18-5	-	-
アクリル・アクリロトリル共重合体	20.0 ~ 30.0 %	非公開	-	-
結晶質シリカ(石英)	15.0 ~ 20.0 %	14808-60-7	○	-
炭酸カルシウム	10.0 ~ 15.0 %	471-34-1	-	-
酸化チタン(ナノ粒子以外)	5.0 ~ 10.0 %	13463-67-7	○	-
エチレングリコール	1.0 ~ 5.0 %	107-21-1	○	-

4 応急措置

吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着物を布にて素早くふき取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。 できるだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5 火災時の措置

使用可能消火剤	全ての消火剤
消火方法	このもの自体に可燃性はない。 周辺火災に対応して、消火活動を行う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 屋内では換気をしっかり行う。屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項	河川への流出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の 方法・機材	漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 スコップ・ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。 水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7 取扱及び保管上の注意

取扱上の注意	換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。 過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
保管上の注意	日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。 盗難防止のために施錠保管する。 子供の手の届かないところに保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び許容濃度(危険有害性物質を対象)

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)
結晶質シカ(石英)		0.025 (2013年) mg/m ³
炭酸カルシウム		10 mg/m ³
酸化チタン(ナノ粒子以外)		10 mg/m ³
エチレングリコール		C 100 ppm

設備対策 屋内塗装作業の場合は、自動塗料機等を使用する等、作業者が直接ばく露されない設備にするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

保護具

呼吸器の保護具 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具 取扱には保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9 物理的及び化学的性質

状態	液体
色	-
臭い	-
pH値	- ~ -
沸点、初留点及び沸騰範囲	-
引火点	-
燃焼または爆発範囲の上限・下限	-
蒸気圧	-
比重(相対密度)	-
溶解度	-
n-オクタノール/水分配係数	-
分解温度	-
粘度	- ~ - dPa's
その他	-

10 安定性及び反応性

安定性	通常の手扱い条件においては安定である。 水と混和する(発熱はしない)。
危険有害反応可能性	通常の手扱いにおいては反応性はない。
避けるべき条件	凍結・高温を避ける。
混触危険物質	情報なし
危険有害性のある分解生成物	この製品自体は燃焼しないが、塗膜が燃えた場合、CO等の有害ガスの発生の恐れがある。
その他危険性情報	特になし

11 有害性情報

製品に関する有害性情報 製品としての安全試験は行っていない

成分の健康有害性情報(危険有害性物質を対象)

成分名	急性毒性					
	経口	急性毒性値 (LD50) (mg/kg)	経皮	急性毒性値(LC50) (mg/kg)	気体	急性毒性値 (LC50) (ppmV)
アクリル・アクリロニトリル共重合体	分類対象外		分類対象外		分類対象外	
結晶質シリカ(石英)	分類できない		分類できない		分類対象外	
酸化チタン(ナノ粒子以外)	区分外		区分外		分類対象外	
エチレングリコール	区分外		区分外		分類対象外	

成分名	急性毒性					
	蒸気	急性毒性値 (LC50) (ppm)	急性毒性値 (LC50) (mg/L)	粉じん及びミスト	急性毒性値 (LC50) (ppm)	急性毒性値 (LC50) (mg/L)
アクリル・アクリロニトリル共重合体	分類対象外			分類対象外		
結晶質シリカ(石英)	分類対象外			分類できない		
酸化チタン(ナノ粒子以外)	分類対象外			区分外		
エチレングリコール	分類できない			区分4		3

成分名	皮膚腐食性及び 皮膚刺激性		眼に対する重篤な 損傷性又は眼刺激性		呼吸器感受性	
	皮膚区分	加成方式 の採用	眼区分	加成方式 の採用	固体/液体	気体
アクリル・アクリロニトリル共重合体	分類対象外		分類対象外		分類対象外	分類対象外
結晶質シリカ(石英)	分類できない		分類できない		分類できない	
酸化チタン(ナノ粒子以外)	区分外		分類できない		分類できない	
エチレングリコール	区分2		区分2B		分類できない	

成分名	皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分
アクリル・アクリロニトリル共重合体	分類対象外	分類対象外	分類対象外	分類対象外	
結晶質シリカ(石英)	分類できない	区分2	区分1A	分類できない	
酸化チタン(ナノ粒子以外)	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
エチレングリコール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	

成分名	特定標的臓器毒性					誤えん有害性
	(単回ばく露)			(反復ばく露)		
	区分1物質	区分2物質	区分3物質	区分1物質	区分2物質	
アクリル・アクリロニトリル共重合体	区分1(分類対象外)	区分2(分類対象外)	区分3(分類対象外)	区分1(分類対象外)	区分2(分類対象外)	分類対象外
結晶質シリカ(石英)	分類できない	分類できない	分類できない	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)(*)		分類できない
酸化チタン(ナノ粒子以外)	分類できない	分類できない	分類できない	区分1(呼吸器)(*)		分類できない
エチレングリコール	区分1(中枢神経系、血液系、腎臓)		区分3(気道刺激性、麻酔作用)	分類できない	分類できない	分類できない

12 環境有害性情報

成分の水生環境有害性情報(危険有害性物質を対象)

成分名	水性環境有害性				log Kow及び急速分解性	オゾン層への有害性
	(急性毒性)		(慢性毒性)			
	区分	毒性値	区分	毒性値		
アクリル・アクリロニトリル共重合体	分類対象外		分類対象外			分類できない
結晶質シリカ(石英)	区分外		分類できない			分類できない
酸化チタン(ナノ粒子以外)	区分外		区分4			分類できない
エチレングリコール	区分外		区分外		急速分解性がある。	分類できない

- ・漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。
- ・製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れない様に対処する。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物、 汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や廃水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
空容器・包装等はリサイクルを推奨する。

14 輸送上の注意

共通

取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

国連番号

船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

航空法の定めるところに従うこと。

-

15 適用法令

安衛法

結晶質シリカ、酸化チタン、エチレングリコール

化管法(第一種指定)

-

化管法(第二種指定)

-

名称を記載すべき危険物及び有害物 結晶質シリカ
(法第57条の2)

16 その他の情報

参考文献

(社)日本塗料工業会編 「原材料物質データベース」

(社)日本塗料工業会編 「GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック 第4版」

【注意】

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその含有成分等に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表す

本製品を当社が認めた材料以外のものと混和、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。